

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	英語ⅢB (English ⅢB) 113009-14000				担当教員	池優子 (イケ ユウコ)			
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	2	配当年次	3年次	開講期	通年
科目特性	資格対応科目 TOEIC / 知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要

言葉はその言葉の国の文化なので、言語としての英語だけでなく、英語を話す国の歴史や民族、宗教、音楽などにも触れ、日本語との違い、ひいては自分のアイデンティティも考えるきっかけとしたい。英語に苦手意識がある学習者にも、”英語“を体感してもらえるよう、実生活の様子のイラストや画像を使い、生きたコミュニケーションを目指す。基本的な文法、リスニングを強化。TOEIC 対応。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

コミュニケーション能力

③ 授業の進め方・指示事項

インタラクティブな授業を目指し、ペアワーク、グループワークで参加型にする。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

英語 I, II

⑤ 標準的な達成レベルの目安

- (i) 英語で自分の経験を含む自己紹介ができる。(be 動詞、一般動詞の現在形、過去形、現在完了)
- (ii) 英語で自分のスケジュールを伝えることができる。(未来の時制、進行形、接続詞)
- (iii) レストランでの注文や、洋服など必要なものを英語で買うことができる。(助動詞、疑問詞、代名詞)

⑥ テキスト（教科書）

English Illustrated (ピクトリアル初級英文法) 並木一美 他 金星堂

⑦ 参考図書・指定図書

なし

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法

具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	75%	15%			5%	5%		100%
(i) 自己紹介ができる (be 動詞、一般動詞)	25%	5%			2%	2%		34%
(ii) スケジュールを伝える (未来の時制)	25%	5%			2%	2%		34%
(iii) 注文や買い物ができる (疑問詞、助動詞)	25%	5%			1%	1%		32%
フィードバックの方法	採点後返却し、解説の時間を設ける。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）

英語学習の習慣化と知識の定着を目的として、授業内での小テストの回数を増やす。

⑩ 授業計画と学習課題

回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	イントロダクション 英語の基本語順	教科書	基本語順の宿題	60 分
2	be 動詞の現在形	教科書	自己紹介の下書き	60 分
3	自己紹介の作文	教科書	自己紹介の修正	60 分
4	be 動詞の過去形	教科書	小テストの準備学習	60 分
5	現在と過去の比較	教科書	動詞の宿題	60 分
6	一般動詞の現在形	教科書	スケジュールの下書き	60 分
7	スケジュールを作成①	教科書	スケジュールの訂正	60 分
8	一般動詞の過去形	教科書	動詞の活用表	60 分
9	日記をつける	教科書	日記の下書き	60 分

10	未来時制	教科書	小テストの準備学習	60 分
11	スケジュールを作成②	教科書	スケジュールの修正	60 分
12	進行形	教科書	小テストの準備学習	60 分
13	代名詞	教科書	小テストの準備学習	60 分
14	レストランの会話	教科書	会話を写し書き	60 分
15	前期のまとめ	教科書	試験対策学習	60 分
16	場所の説明	教科書	作文	60 分
17	疑問詞	教科書	小テストの準備学習	60 分
18	コミュニケーションは聴く力	教科書	疑問文を作る	60 分
19	現在完了	教科書	趣味を書く	60 分
20	経験や思い出を語る	教科書	作文の修正	60 分
21	助動詞	教科書	小テストの準備学習	60 分
22	人にお願いをする	教科書	作文	60 分
23	名詞	教科書	小テストの準備学習	60 分
24	食品を買う	教科書	単語を調べる	60 分
25	比較	教科書	小テストの準備学習	60 分
26	洋服を買う	教科書	単語を調べる	60 分
27	受動態	教科書	小テストの準備学習	60 分
28	接続詞	教科書	リーディング	60 分

29	道を教える	教科書	小テストの準備学習	60 分
30	後期のまとめ	教科書	試験対策学習	60 分

(11) アクティブラーニングについて

知識定着・確認型AL（音読、ペアワーク、単語テストなど）を中心にするが、テーマによっては、協同学修型AL（グループワーク、ディスカッションなど）を採用する。

※以下は該当者のみ記載する。

(12) 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性